

1事例目	2事例目
家族と一緒に通いの場、サロンへの参加。	デイケアで <u>関心あること</u> (興味関心チェックシートに多くのヒントあり)にアプローチしてもらったら。
自宅土間を活用して、近隣住民とのサロンを開設してみても？	家族の協力により、家事の役割分担を一度明確にしてみても？ お嫁さんにとって「どこまで本人に任せられる？」範囲と程度の確認を。
ひとりでの外出はやはり心配。 初めは誰かと一緒に、次は待ち合わせして、など、段階的に外出支援を進めたらよい。	まずは家の中での目標、できることを考えてみる。
地域食堂に友人らと参加。食を通じた社会交流。	愛衆館でサロン開催し、体操や公園清掃など活発な活動を。 参加に移動支援が必要かもしれないが(家族に相談してみる)。 家以外に居る場所を作る。
音楽、ゲームも好き。博愛Hpのデイケアの利用。認知症に対応できるOTも居る。	手先使うことに関心ある人。家でできるボランティア活動の提案。
日頃関わっている事例。「認知症」と思っていなかった。 安心して出かけられる工夫が必要。 読書。	望む暮らし…少し弱い。 強化しやすい明確な目標にしては。Om歩けるように、OmをO分(秒)で歩けるように、など、具体的に。
甲状腺の薬の飲み忘れは、数日でも体への影響が大きい。 健康管理の重要性を家族に知ってもらうことは大切。 受診に家族が付き添いできれば。	
困った時の対応策を記したカード(例:家族にTEL)携帯すると安心材料に。	
薬、なぜ飲む？私にとっての効果は？など知れたら、納得、自覚してもらえるのでは？	
<ul style="list-style-type: none"> ・家の中で出来て、外部とつながれるボランティア活動 ・ご家族様への支援(事例①の場合、外出時の失敗を起こりにくくするための外出先の選定など) 	
外出先での失敗が数回あったとの事なので、失禁での失敗が無いのであれば、トイレの場所、扉の開閉の仕方を外出先でまずご家族と確認してみるのも良いのではと思った。	家の中でも役割は必要だと思った。お嫁さんが仕事で忙しいとの事だったので、本人の身体機能を評価した上で、役割を話し合ってみることは必要だと思った。
	「料理をしてみたい」と意向あり。家族の同意のもと、通所リハビリで料理の動作訓練を行い評価。それを持って家族に自宅での簡単な料理の実施など提案し実践できるとよいと思った。
意欲向上のためには、感謝される、誰かの役に立つ喜びを感じられることが必要。2事例とも、そんな場面や機会を家族や友人等の協力により設けるとよい。	

<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の診断と実際の生活の様子にギャップを感じる。意欲低下の原因に、甲状腺機能低下が影響している可能性があるため、ヘルパーさんや家族による服薬確認と甲状腺ホルモン量の検査受診ができることよい。 ・コープの移動販売を利用されているので、お友達に声掛けをしてもらい一緒に買い物に行く。 ・おでかけえんばわを利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物がかしてみたいとあるので、「とくし丸」を自宅に呼び、買う楽しみを増やす。近所の人にも声をかけ、一緒に「とくし丸」を利用することで、地域の買い物難民を減らし、交流機会にもつなげる。 ・お嫁さんへの遠慮で能力はあるがしなないように見える、とあるが、家庭内での役割分担を提案するにあたり、本当に遠慮なのか本人の気持ち(本心)をよく聞いてみる。
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の旧店舗スペースなどを活用してのサロン開催はよいアイデアだと思った。外出がご本人にとって少しまだハードルが高いようだったので、まずは外出ではなく、自宅に誰かが集まるとの交流の機会を設け、ご本人が自宅以外の場の交流も望まれるようであれば外出による交流の機会に参加する、というように段階的に交流できるとご本人にとって負担が少ないかと思った。 ・自宅なり外出先なりの交流にあたって、見守り役・伴走役・交流の支援者として地域の人が数人手助けして下さるとより安心。ご本人と関係性のあるご家族・ご近所さん等。時々、おでかけえんがわのように看護師さんが参加されるとより心強い場になるかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人は、さまざまな家事をしたい思いがあるように興味関心チェックシートから感じる。まずは、家庭の中から役割を見出し、実践してもらうことで自信や意欲向上につながる期待がある。 ・ご長男のお嫁さんにも、ご本人に対する遠慮な思いもあるのでは。働いているなら、家事への協力はありがたいことかもしれない。両者間の思いの伝えあいと役割分担のための話し合いができることよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・観劇に興味がある、とチェックシートにあったが、十数年前には近くに劇団があり公民館で年に1、2回公演があった。何かそういった楽しい劇を見れるようなイベントが近くであると良い。 ・サロン、デイサービス(楽しいことができる…) ・半日型のデイサービス 	
<p>(両事例?) 近隣の人(歩いて行っても負担のない範囲)で集まれるミニサロンを、誰かの家を借りて行うといい(店舗だったところだとなお良い)。</p>	
<p>(両事例?) 隣近所で誘いやすい状況を作って(人と人を繋げる)あげられると良い。</p>	
<p>(両事例?) 患者様やそのご家族が、やりたいことややってみようことに関して気軽に相談できる所、又は、ネットなどで検索したりできるホームページがあれば、やってみようかなと思った時にその助けになるのではないかな。</p>	
	<p>興味関心チェックシートの“してみたい”にチェックが多い。動機付けが上手くできれば心と体が動くのかも。例えば、夫の仏壇に夫が好きだった料理を供えとか、そのための買物も家族の協力を得て自分で選ぶとか。 「料理を作る」にもチェックあるので、食べたいものや作りたいものがあるのかも。買物は長女と通院する時に行ってみては?長女の家で長女と一緒に料理することもよいかも。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お嫁さんとの関係性も良いということ、トイレの失敗が何度かあったということなので、負担にならない程度でお嫁さんも交えて外出する。高齢な方なので残された時間の中で今後も楽しい経験を増やしていけたらいいのかなと思った。 ・出かけることはしんどいけど、家に来ることは大丈夫みたいなので、意欲が低下している間は、お友達の方から家に来てもらえたら、人と交流する楽しみを持ちながら生活するという目標も達成できるのかなとは思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・してみたいことはたくさんあるのでご本人がどこまでしたいのか、ご家族がどこまでならさせてあげようと思っているのか、通所リハビリの職員からどこまでのことができ、どこまでのことができないのかを聞いて、お嫁さんや家族が許せる範囲でできることを増やしていいのかなと思った。 ・買い物はお嫁さんと行けそうとは思ったのですが、仲が良くないのであれば息子さんに連れて行ってもらう、買い物をする場所を長く歩けないのであれば、その間歩くことができるように通所リハビリで体力をつける、休憩ができるようなシルバーカーを使用して買い物をするなどしてもいいのかなとは思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・社交ダンスや編み物等、昔行っていた事をまたしてみたい気持ちになれるようにDVDや通いの場を活用出来ないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心チェックシートの結果からご自身なりに行える事は把握している様子なので、担当者会議等の場で家族間の役割分担と活動機会確保の両面に対応していく。

- ・室内で植物を育てることから始めて、少しずつ庭に出ることができるようにする。
- ・長女との通院の帰りに買い物に行く。